

触覚提示技術 (Haptics 技術) とは

触覚提示技術 (Haptics 技術) とは、ヒトの五感 (視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚) のひとつである身体を通じて感じる触覚を、人工的に作り出し疑似的に再現する技術です。近年、従来の視覚と聴覚のみのバーチャルリアリティ技術に、この触覚提示技術を付加する事により、今まで体感できなかった衝撃や感触を再現できるようになり、バーチャルリアリティ技術では重要な部分を担うようになっていきます。

今回は、単純な「ブルブル」ふるえるような触覚提示ではなく、ソニー独自の触覚提示技術 (Haptics 技術) を使って高精細な触覚提示を可能にし、よりリアルな体験を実現しました。



ソニーの触覚提示技術 (Haptics 技術) の特徴

①リアルタイム性

独自の触覚信号生成技術により、入力信号に対しリアルタイムに触覚信号を生成し、よりリアルな体験に近い表現を提供します。

②広帯域・高ダイナミックレンジ

単純な「ブルブル」ふるえるような触覚提示ではなく、独自の信号処理技術により、より多様で高精細な表現をすることができます。

③クロスモーダル知覚

触覚提示に加え、視覚、聴覚を組み合わせる事で、従来にない“リアリティ”を表現できます。

※クロスモーダル知覚

複数の感覚提示の組み合わせによって、実際には提示していない感覚を人間の脳が疑似的に錯覚・体感すること。

④触覚超解像技術

複数の振動デバイスを独自のアルゴリズムで連動制御することで、知覚の高解像化を実現しました。

これにより、様々な触覚表現を身体に対して点ではなく面で提示する事ができます。

